

互いの個性の理解

<p>◆学習のねらい 友達や教師が見付けてくれた自分の良いところを知り、自分の良いところを伸ばしていこうとする態度を育てる。</p> <p>◆評価 自分や他者の良いところを知り、互いに認め合いながら自分の良いところを伸ばしていくことの大切さに気付くことができたか。</p>	<p>◆教育課程における位置付け 特別活動</p> <p>◆主な使用教材 ・東京都道徳教育教材集『心しなやかに』〈小学3・4年生版〉 ・「〇〇さんらしさカード」(小学校低学年の「ともだちのよいところカード」を参照)</p>
--	--

展開例

	学習活動（・児童の発言例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 自分の良いところを伸ばし、友達の良いところを見付ける本時の学習を知る。 <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;">自分らしさをみがこう。</div>	○ 自分らしさ、友達らしさが見付けやすくなるよう、教師が自分らしさを紹介する。
展開 30分	2 東京都道徳教育教材集『心しなやかに』100ページの絵を見て、自分の良いところや自分の気になるところについて考え、話し合う。 ・ 元気に挨拶ができる。 ・ 忘れ物が多い。 3 『心しなやかに』101ページを読み、「自分らしさ」について考える。 ・ 私の自分らしさって何かな。 ・ 友達のことならすぐ分かるよ。 4 4人グループになり、自分以外の3人のことについてカードに書く。 (1) 友達の紹介が書けたら、その友達に裏返して渡す。 (2) 3人が書いてくれたカードを読む。	○ 良いところや悪いところということではなく、自分の特徴がその人らしさであり、掛け替えのない自分であることを伝える。 ○ 考えた後、何人かに発表させ、全員で共有する。 ○ 自分の特徴について考えられない児童には、100ページの例以外の良いところについても紹介する。 ○ 自分で見付けられない児童や、迷っている児童には声を掛け、その児童の頑張っているところを伝え、自信をもって記入できるようにする。 ○ 児童は友達の頑張りに気付けない場合もあるので、教師も具体的事実に基づく全員分の良いところや頑張っているところを探しておき、探せない児童に伝えながら、良いところに気付かせる。 ○ 時間があれば、グループ以外の友達のことを書いてもよい。
まとめ 10分	5 感想をまとめる。 ・ 友達が見付けてくれた新しい自分らしさを知った。 ・ 自分らしさを大切にしたい。	○ 自分らしさを大切にすることや、みんながお互いのその人らしさを認め合うことで、学級が楽しくなることに気付かせる。

板書例

自分らしさをみがこう

◎自分のよいところ

- ・元気にあいさつできるところ。
- ・だれにでもやさしいところ。

◎自分の気になるところ

- ・わすれ物が多いところ。
- ・おこりっぽいところ。

◎自分らしさとは・・・

自分らしさをみがく
= (イコール)

自分の「よいところ」をのばして
いくこと

自分らしさについて考えよう

◎自分以外の「その人らしさ」を

見つけ、伝え合おう

①「○○さんらしさカード」を
書く。

②カードが書けたら、その友達
にうら返してわたす。

③自分にもらったカードを読む。

◎感想

・自分の「よいところ」を新しく
知ることができた。

発展的な展開例

	学習活動	◎指導上の留意点
展開 30分	1 東京都道徳教育教材集『心しなやかに』100～101ページを基に、「自分らしさ」を磨いていくことについて考える。	○ 学級全体で行い、内容を板書する。
	2 『心しなやかに』101ページの自分らしさを磨くために「のぼしたいところ」と「このようにして、のぼしたい」の欄にそれぞれ記入する。	○ 『心しなやかに』101ページの「自分らしさをみがく=自分の『良いところ』をのぼしていくこと」という部分を全体で確認する。
	3 4人グループになり、ほかの3人に向けて自分らしさを磨くために「のぼしたいところ」と「このようにして、のぼしたい」ことを発表する。	○ 『心しなやかに』101ページには「先生や家族からのアドバイス」の欄もあるため、授業後に教師や家族がコメントを記入できるようにする。
	4 発表後、ほかの3人から、自分の「良いところ」をのぼす方法についてのアドバイスをもらう。	

【資料等】

自尊感情測定尺度（東京都版）「自己評価シート」（小学校4年生～高校生用）

【自尊感情測定尺度（東京都版）】

質問に対して、自分の気持ちに近い数字に○をつけてください。
【例】「あなたは、自分の気持ちに近い数字に○をつけてください。」 場合は4、「どちらかといえばあてはまる」場合は3、「どちらかといえばあてはまらない」場合は2、「あてはまらない」場合は1を○でかこんでください。

＜記入例＞

No	項目	4	3	2	1
1	私は今の自分に満足している	4	3	2	1
2	人の期待を裏切ることができない	4	3	2	1
3	人より進んでいても自分が正しいと思うことは少ない	4	3	2	1
4	私は自分のことが好きである	4	3	2	1
5	私は人のために力を尽くしたい	4	3	2	1
6	自分の中には様々な能力がある	4	3	2	1
7	自分はダメな人間だと思うことがある	4	3	2	1
8	私はほかの人の期待に応えることができる	4	3	2	1
9	私は自分の計画や行動を修正することができる	4	3	2	1
10	私は自分という存在を大切に思える	4	3	2	1
11	私は自分のことを理解してくれる人がある	4	3	2	1
12	私は自分の長所も短所もよく分かっている	4	3	2	1
13	私は今の自分には満足だ	4	3	2	1
14	人に愛されることがないよう、いったん決めたことには責任を持ってやり続ける	4	3	2	1
15	私は誰にも負けないもの（こと）がある	4	3	2	1
16	自分には自信がある	4	3	2	1
17	自分のことを誇って持っている周りの人々に感謝している	4	3	2	1
18	私は自分のことは自分で決めたいと思う	4	3	2	1
19	自分は誰かの役に立っていないと思う	4	3	2	1
20	私は自分のことを必要としてくれる人がある	4	3	2	1
21	私は自分の個性を大切にしたい	4	3	2	1
22	私は人と同じくらい価値のある人間である	4	3	2	1

「自己評価シート」及び「他者評価シート」は、以下の方法でダウンロードすることができます。

東京都教職員研修センター
ホームページ
<http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/>

研究成果の活用

東京都教職員研修センター紀要等

平成23年度東京都教職員研修センター紀要（第11号）等

互いの個性の理解

◆学習のねらい

自分らしさ、友達のその人らしさを見付け、学級の一員としての自分に気付くとともに、学級全員のその人らしさを、学級で生かしていこうとする態度を育てる。

◆評価

自分や他者の良いところを知り、認め合い、助け合うことの大切さに気付くことができたか。

◆教育課程における位置付け

特別活動

※保健における「心の発達に関する学習」との関連を図ることができる。

◆主な使用教材

- ・東京都道徳教育教材集『心たくましく』〈小学校5・6年生版〉
- ・「○○さんらしさカード」

展開例

	学習活動（・児童の発言例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 東京都道徳教育教材集『心たくましく』104ページを読み、本時の学習を知る。	○ 自分らしさとは、長所だけでなく、短所も含めて「自分らしさ」であることを伝える。
	もっとかがやく自分をめざそう。	
展開 30分	2 自分の良いところや自分の伸ばしたいところを考えて、『心たくましく』104ページに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 真面目なところ。 ・ すぐに怒ってしまうから、そこを直したい。 ・ 毎日、自分からすすんで勉強するようにしたい。 	○ 自分で見付けられない児童や、迷っている児童には声を掛け、その子の頑張っているところを伝え、自信をもって記入できるようにする。
	3 4人グループになり、自分以外の3人のことを「○○さんらしさカード」に書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どんなことにも前向きに取り組んでいる。 ・ 誰にでも優しい。 	○ なるべく多くの友達の良いところを考えられるように時間を確保する。 ○ 友達の良いところを見付けられない児童には、教師が例を示すなどして、友達の良いところに気付かせていくようにする。
	4 友達の紹介が書けたら、「○○さんらしさカード」を一人ずつ渡す。	○ 学級の実態に応じて、カードに書いた内容を読んで渡してもよい。
まとめ 10分	5 本時の感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が見付けてくれた新しい自分らしさを知ることができた。 	○ 一人一人が、互いのその人らしさを認め合うことで、学級が楽しくなることや、行事が成功することなどに気付くことができるようにする。

板書例

もっとながやく自分をめげなう

○自分らしさって何だろう

「心たくましく」より

「良いところ」も「変えたいと思
うところ」も全部ふくめて、まる
ごと自分自身

○自分の良いところや、伸ばしたい
ところ

- ・真面目なところ。
- ・すぐに怒ってしまふから、そこ
を直したい。
- ・毎日すすんで勉強するところ。

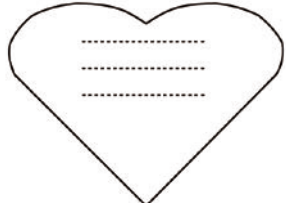
○自分以外の「その人らしさ」を
見付け、伝え合おう

- ・どんなことにも前向きに取り組
んでいる。
- ・だれにでも優しい。

○感想

- ・友達が見付けてくれた新しい
自分らしさを知ることができ
た。

発展的な展開例

	学習活動	○指導上の留意点
展開 25分	1 学級目標を達成するために生かすことができる自分の良いところ及びグループ内の友達の良いところについて「イメージカード」に記入する。	○ 友達の良いところについては、この後に協議するグループのメンバーを書かせるようにする。
	<p>学級目標を達成するために</p> 	<p>自分の良いところ 学級目標を達成するために、わたしは自分の良いところである（ ）を生かしていきます。</p> <p>友達の良いところ 学級目標を達成するために、〇〇さんの良いところである（ ）を生かしてほしいです。</p>
	<p>2 グループになり、「学級目標」を達成するために生かすことができる自分の良いところ及び友達の良いところについて発表する。</p> <p>3 友達から聞いた良いところも含め、学級目標を達成するために生かしていきたい自分の良いところについて改めて考える。</p>	<p>○ グループのほかの人が考えた良いところを聞くことで、自分が気付いていなかった良いところにも着目させる。</p> <p>○ 様々な自分の良いところを生かしながら、学級の一員として学級目標を達成していこうとする意識をもたせる。</p>

【資料等】

〇〇さんらしさカード

() さんらしさカード

名前 ()

互いの個性の理解

◆学習のねらい

ほかの人の良いところを伝え合う活動を通して、今まで気付かなかった自分の良いところを知り、自分と友達の良いところを学級で生かしていこうとする態度を育てる。

◆評価

自分の良いところを知り、今後の学級での自分の役割を考えるとともに、助け合うことの大切さに気付くことができたか。

◆教育課程における位置付け

特別活動

※保健体育における「自己形成に関する学習」との関連を図ることができる。

◆主な使用教材

- ・ノート（ワークシートにしてもよい。）
- ・東京都道徳教育教材集『心みつめて』〈中学校版〉

展開例

	学習活動（・生徒の発言例）	○指導上の留意点
導入 15分	1 ウォーミングアップを行う。	○ 深呼吸、座ったままのストレッチ等を行い、リラックスさせるとともに、「自分らしさ」を考える意味について伝える。
	2 本時の学習のねらいや方法を知る。	○ 4人程度でグループを作っておく。
	「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」を見付けよう。	
展開 25分	3 自分の長所と短所をノートに書き、長所や短所が表れた具体的な事例も書く。	○ 長所と短所の記入は事前の課題としてもよい。 ○ 長所が書けない生徒には教師が助言する。
	4 グループ内で二人組になり、ノートに書いた友達の長所と短所から、相手のその人らしさをまとめ、互いに読み合う。	○ 長所は称賛し、短所は見方を変えれば長所となるという「リフレーミング」の考えを伝えるようにさせる。
	5 相手のその人らしさについて自分との比較から伝える。	○ ノートに書かれていない長所に気付いていれば、それを相手に伝えるよう助言する。
まとめ 10分	6 ペアを替えて、繰り返す。 ・ 自分はどちらかというと早く物事を進めたいが、友達はじっくり考えて物事を進めたいことが分かった。	○ 授業の途中で友達が認めている長所について発表させる。 ○ 時間があれば、ほかのグループと交流する。
	7 学習活動を振り返り、ノートに感想を書く。	○ 東京都道徳教育教材集『心みつめて』129ページに「こうしたい」自分を書くこともよい。
	8 感想を発表する。 ・ 自分らしさを発見した気がする。 ・ 友達のその人らしさが分かる人になりたい。	○ 自尊感情や自己肯定感を高めることができるよう配慮する。

板書例

「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」を見付けよう

○「自分らしさ」とは

『心みつめて』より

自分が嫌だと思っているところも、ちよつとした磨きを加えることで、光り輝く「自分の魅力」「自分らしさ」に変えることができるかもしれない。

※例えは

「意地っぱり」の自分は

芯の強さをもった「人から信頼される自分」になれる

○「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」

・自分はどちらかというと早く物事を進めたいが、友達はずっくり考えて物事を進めたいことが分かった。
・自分と友達の「らしさ」は同じだと思っていたが、話してみると違うことが分かった。

○感想

・自分らしさを発見した気がする。
・友達のその人らしさが分かる人になりたい。

発展的な展開例

	学習活動	○指導上の留意点
展開 25分	<p>1 4人グループになり、自分の短所をカードに一人3枚書く。</p> <p>2 自分以外の3人にカードを渡し、生徒それぞれが渡されたカードの裏面に短所を長所として見方を変えた内容を考え、書く。</p> <p>(例)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">おしゃべり</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人づきあい がよい</div> </div> <p>3 一人ずつ長所として見方を変えた内容を発表する。</p> <p>4 学習活動を振り返り、感想を発表し合う。</p>	<p>○ 見方を変えることが困難な生徒には、具体例を伝える。</p> <p>○ 見方を変えると長所になることに気付かせる。</p> <p>○ 自分では短所だと思っていたことも、人によっては長所と見ている場合もあることに気付かせる。</p>

【資料等】

ノート (例) ※見開きでノートを使う。面接などの自己アピール文として活用できる。

「自分らしさ」や友達の「その人らしさ」を見付けよう

長所

○自分の長所 明るく、元気である。
○スポーツが大好きで、部活動に一生懸命取り組んでいる。

友達から

(○○より) △△さんは、毎朝、先生や友達に元気にあいさつしていますね。授業中も、よく発言して、積極的だと思います。

友達から

(○○より) △△さんは、部活動で、技が身に付くまで何度も練習していた。努力の成果だと思う。おおざっぱというけれど、細かいところを気にしないのは、良いところであるとも言えると思う。

短所

○おおざっぱである。
○あまり深く考えなくて、発言してしまうところがある。

友達から

(○○より) 話合いの司会をしていたとき、誰も発言しなくて困っていた。△△さんが、真っ先に発言してくれたので、次の人が言いやすくなった。すぐに発言できるのは、長所だと思う。

感想